

# 楠木建の本

経営学者 | 一橋ビジネススクール特任教授 (PDS寄付講座競争戦略) | 専攻は競争戦略 | 企業が競争優位を構築する論理について研究している

楠木建の頭の中

戦略と経営  
についての論考

「なぜ、この企業は他社を上回る利益を持続的に生み出せるのか。この大きな問いに対して、メディアで書き連ねてきたさまざまな論考の集大成。」

楠木建の頭の中

仕事と生活  
についての雑記

「自分以外の誰かのために頑張る必要はない。自分自身の価値を高めることに集中しよう。仕事と生活の両立は、自分自身の価値を高めることに集中することにある。」

ストーリーとしての競争戦略

「戦略の神髄は、思わず人に話したくなるような面白いストーリーにある。優れた戦略は流れと動きを持った「ストーリー」として組み立てられる。多くの事例をもとに「ストーリー」という視点から、究極の競争優位をもたらす論理を解明。競争戦略の本質を描き出す。」

絶対悲観主義

「心配するな、きつとうまくいかないから——この身も蓋もない「真実」を直視する。厳しいようで緩い、緩いようで厳しい、でも根本においてわりと緩い「GRIT無用、レジリエンス不要」の仕事の哲学。」

逆・タイムマシン経営論

「飛び道具トラップ」「激動期トラップ」「遠近歪曲トラップ」経営を惑わす3つの「同時代性の罠」を回避せよ。近過去の歴史を検証すれば、変わらない本質が浮かび上がる。戦略思考と経営センスを磨く「古くて新しい方法論」。

戦略読書日記

「読んででは考え、考えては読む。本との対話に明け暮れた挙句の果てに立ち上る、極私的普遍の世界。書評に仮託した著者の主張の全面展開。著者の思考に大きな影響を与えた本との対話を通じて経営や戦略についての洞察を縦横に論じる。」

## 楠木建の頭の中 戦略と経営についての論考

(日本経済新聞出版)

競争がある中で、なぜある企業は他社を上回る利益を持続的に生み出せるのか。この大きな問いに対して、メディアで書き連ねてきたさまざまな論考の集大成。

## 楠木建の頭の中 仕事と生活についての雑記

(日本経済新聞出版)

原理原則を確立し、世の中と折り合いをつけて生きていく。仕事と生活の醍醐味は自分に固有の価値基準を練り上げていくことにある。スカイマーク機内誌の好評連載も収録。

## ストーリーとしての競争戦略 (東洋経済新報社)

戦略の神髄は、思わず人に話したくなるような面白いストーリーにある。優れた戦略は流れと動きを持った「ストーリー」として組み立てられる。多くの事例をもとに「ストーリー」という視点から、究極の競争優位をもたらす論理を解明。競争戦略の本質を描き出す。

## 絶対悲観主義 (講談社)

心配するな、きつとうまくいかないから——この身も蓋もない「真実」を直視する。厳しいようで緩い、緩いようで厳しい、でも根本においてわりと緩い「GRIT無用、レジリエンス不要」の仕事の哲学。

## 逆・タイムマシン経営論 (日経BP)

「飛び道具トラップ」「激動期トラップ」「遠近歪曲トラップ」経営を惑わす3つの「同時代性の罠」を回避せよ。近過去の歴史を検証すれば、変わらない本質が浮かび上がる。戦略思考と経営センスを磨く「古くて新しい方法論」。

## 戦略読書日記 (ちくま文庫)

読んででは考え、考えては読む。本との対話に明け暮れた挙句の果てに立ち上る、極私的普遍の世界。書評に仮託した著者の主張の全面展開。著者の思考に大きな影響を与えた本との対話を通じて経営や戦略についての洞察を縦横に論じる。



## 「好き嫌い」と経営 (東洋経済新報社)

戦略ストーリーの根底には、その人を内部から突き動かす「好き嫌い」がある。14人の経営者との「好き嫌い」についての対話を通じて、経営や戦略の淵源に迫る。巻末には著者自身へのインタビュー「なぜ、『好き嫌い』なのか?」を収録。



## 好きなようにしてください (ダイヤモンド社)

人生はトレード・オフ。その本質は「何をやらないか」を決めること。趣味と仕事は違う。自分以外の誰かのためにやるのが仕事。仕事にどのように向き合うか。仕事の迷いに『ストーリーとしての競争戦略』の著者が答えを示す。



## すべては「好き嫌い」から始まる (文藝春秋)

仕事は晴れの日はばかりではない。努力をしても成果が出ない。思うような評価が得られない——では、どうしたらよいのだろうか。成熟社会における自由な仕事・ビジネスの起点と基点を指し示す「無努力主義」の仕事術。



## 経営読書記録 (日本経済新聞出版)

読書を通じた「具体と抽象の往復運動」の記録。経営についての思考の知となり肉となった読書の軌跡。「表」と「裏」の2分冊で2019-2023に書いた書籍解説、書評のほぼすべてを網羅。



## 「仕事ができる」とは何か? (宝島新書)

真の仕事能力はスキルよりもセンスに深くかかわっている。「スキルのデフレ化とセンスのインフレ化」はあらゆるジャンルで進行している。「仕事におけるセンス」について山口周氏と縦横に論じる。

## 会員制ブログ「楠木建の頭の中」

読んだ本や世の中の出来事、日々の仕事や生活についての考えごと——月曜日から金曜日まで毎日更新しています。「楠木建の頭の中」で検索し、ご購入くださいませ。